※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語科	論理・表現 Ⅱ	2	2	MY WAY Ⅱ

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．単元に書かれてある内容を十分に理解する。そのために、単語、語句、文などの単位で意味を理解する。
２．１で理解した単語などを用いて、単元に書かれてある内容を、自分のことばで表現できるようにする。
３．リスニングでは、内容を理解しながら聞き取る力を養う。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵や写真などを参考にしながら理解することができる。	・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解する。 ・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵や写真を参考にしながらあらすじを理解することができる。 ・身近な事柄について簡単な英語で書かれたごく短い説明を読み、挿絵や写真を参考にしながら概要を理解する。	・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話したり､繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じ，言語やその背景の文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用てコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用し，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	L1 I Love My Country!	聞くこと	a: 自分の経験について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現を学ぶ。 b: 自分の好きな場所について、未来を表す表現や各地の有名なものを表す表現などを学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: これまでの経験について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝え合うための多様な語句や文を身に付ける。 b: 現在完了形、過去完了形の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについて文を読めるようにする。 c: 未来を表す表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについて読めるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと （発表）	a: 昨年の思い出と今年の計画について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく伝え合う技能を身につける。 b: お互いによく理解できるように、昨年の思い出と今年の計画について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく伝える技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 現在完了形、過去完了形の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについて複数の文を書けるようにする。 b: 未来を表す表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて書けるようにする。 c: 聞き手によく理解してもらえるように、自分の好きな場所について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	L2 The New Wave of Sports	聞くこと	a: 予定について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現を学ぶ。 b: 最新のものについて情報を伝えるために必要となる表現を学ぶ。 c: 施設や行き方を説明するために必要となる表現を学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: 助動詞を用いた表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについての文を読めるようにする。 b: 最新のものについて、情報を詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。 c: 〈助動詞＋have＋過去分詞〉、〈be 動詞＋to 不定詞〉の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについての文を読めるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと （発表）	a: 週末の予定について、助動詞を用いた表現やいろいろな予定を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合う技能を身につける。 b: 聞き手によく理解してもらえるように、最新のものについて、情報を整理し、多様な語句や文を用いて、紹介できるようにする。 c: 相手によく理解してもらえるように、スポーツ大会の会場への道順について、多様な語句や文を用いて、情報を詳しく伝え合う技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 助動詞を用いた表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて、書けるようにする。 b: 〈助動詞＋have＋過去分詞〉、〈be 動詞＋to 不定詞〉の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについての文を書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	中間考査			
	L3 The Future of Technology	聞くこと	a: 印象深かった授業について、受動態や、授業で行われている内容を表す表現を学ぶ。 b: 世界の国々の特徴について、国を説明する表現を学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出

※令和４年度以降入学生用

				④小テスト
		読むこと	a: 受動態の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについて複数の文を読めるようにする。 b: 不定詞（名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法など）の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を読めるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと（発表）	a: 世界の国々の特徴について、国を説明する表現などを用いて、情報を整理し、詳しく伝え合えるようにする。 b: お互いによく理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由とともに詳しく伝え合えるようにする。 c: お互いによく理解できるように、世界の国々の特徴について、多様な語句や文を用いて、情報を整理し、詳しく伝え合えるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 受動態の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を書けるようにする。 b: 贈り物について、不定詞（名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法など）や贈り物でできることを表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身につける。 c: 読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	L4 Rediscover *Kabuki*	聞くこと	a: 日本の文化について、不定詞（進行形・受動態・完了形の不定詞、原形不定詞）や日本文化を表す表現を学ぶ。 b: 日本の文化について、知覚動詞、使役動詞や日本文化を表す表現を学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: 歌舞伎について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝え合うための多様な語句や文を身につける。 b: 不定詞（進行形・受動態・完了形の不定詞、原形不定詞）の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて文を読めるようにする。 c: 日本の文化について紹介するために必要となる表現の意味や働きを理解する。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと（発表）	a: 日本の文化について、知覚動詞、使役動詞や日本文化を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく発表する技能を身につける。 b: 聞き手によく理解してもらえるように、日本の文化について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて発表する。 c: 聞き手によく理解してもらえるように、選んだ小話について、身振りなどおもしろく聞こえる工夫をしながら演じる。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 不定詞（進行形・受動態・完了形の不定詞、原形不定詞）の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を書けるようにする。 b: 知覚動詞、使役動詞の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	期末考査			
2	L5 Will Our Lives Change with AI?	聞くこと	a: いろいろな科学技術について、動名詞や将来実現するかもしれないことを表す表現を学ぶ。 b: 示された質問例などを活用しながらアンケートをとり、アンケート結果を報告するための表現を学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: いろいろな科学技術について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解する。 b: 将来の社会の状況と職業について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解する。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト

※令和４年度以降入学生用

			c: アンケート結果を報告するために必要となる表現の意味や働きを理解する。	③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと（発表）	a: いろいろな科学技術について、動名詞や将来実現するかもしれないことを表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合う技能を身につける。 b: 聞き手によく理解してもらえるように、アンケート結果について、情報や自分の考えを整理し、多様な語句や文を用いて、グラフを使いながら詳しく伝える技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 動名詞の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を書けるようにする。 b: 将来の社会の状況と職業について、分詞構文や〈with＋O＋分詞〉、職業が役に立っている状況を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身につける。 c: 読み手によく理解してもらえるように、社会の状況と職業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	L6 Experience Madagascar's Wildlife	聞くこと	a: ものの数や大きさなどについて、比較（比較級、最上級、同等比較）や身近なものを表す表現を学ぶ。 b: ホテルでのトラブルについて、ホテルの部屋で起こる可能性のあるトラブルやそれに対する解決策を表す表現を学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: ものの数や大きさなどについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解する。 b: 世界や日本で有名な場所について、情報や自分の考えを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解する。 c: ホテルの部屋で起こる可能性のあるトラブルやそれに対する解決策を表す表現の意味や働きを理解する。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと（発表）	a: 世界や日本で有名な場所について、比較（倍数表現、比較の強調など）や〈the＋序数＋最上級〉などを用いて、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身につける。 b: 聞き手によく理解してもらえるように、世界や日本で有名な場所について、情報や自分の考えを整理し、例を挙げるなど論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて詳しく伝える技能を身につける。 c: お互いによく理解できるように、ホテルでのトラブルについて、多様な語句や文を用いて、自分の状況や要望を伝える技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 比較（比較級、最上級、同等比較）の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについて複数の文を書けるようにする。 b: 比較（倍数表現、比較の強調など）の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人や、ものごとについて書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	中間考査			
	L7 Can We Go and Live on Mars?	聞くこと	a: 火星について、関係代名詞、関係副詞や火星の環境を表す表現などを学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: 火星について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝え合うための多様な語句や文を身に付ける。 b: 火星での生活について、情報や自分の考えを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など

※令和４年度以降入学生用

		話すこと（発表）	a: 火星について、関係代名詞、関係副詞や火星の環境を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う技能を身につける。 b: お互いによく理解できるように、火星について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合う技能を身につける。 c: 自分の意見や主張を相手によりよく理解してもらえるように、「無人島で５日間生き残るために何を持っていく？」というテーマについて、多様な語句や文を用いて、理由とともに、話して伝え合う技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 関係代名詞、関係副詞の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて、書けるようにする。 b: 火星での生活について、関係代名詞、関係副詞や、火星に住むために乗り越えなければならない問題を表す表現などを用いて、情報や自分の考えを整理し、書けるようにする。 c: 読み手によく理解してもらえるように、火星での生活について、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて、書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	L8 Language and Society	聞くこと	a: 外国について、仮定法（仮定法過去、仮定法過去完了）や旅行先でできることを表す表現を学ぶ。 b: 「もし〇〇がなかったら」というタイトルで、仮定法のさまざまな表現やいろいろな出来事を表す表現を学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: イギリスとカナダで使われる英語の違いについて、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝え合うための多様な語句や文を身につける。 b: 「もし〇〇がなかったら」というタイトルで、情報や自分の考えを詳しく伝えるための多様な語句や文を身につける。 c: あるテーマについて賛成・反対の意見を伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解する。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと（発表）	a: お互いによく理解できるように、外国について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合う技能を身につける。 b: 聞き手によく理解してもらえるように、「もし〇〇がなかったら」というタイトルで、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて詳しく伝える技能を身につける。 c: 自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、日常的な話題（人生で一度はペットを飼うべきだ）や社会的な話題（高校生は英語以外にも外国語を学ぶべきである）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見に応じて、賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して伝え合う技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 仮定法（仮定法過去、仮定法過去完了）の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについての文を書けるようにする。 b: 仮定法のさまざまな表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについての文を、書けるようにする。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	期末考査			
	L9 Send Our Love to the World	聞くこと	a: 悩み事について、否定の表現やいろいろな経験・物事を説明する表現を学ぶ。 b: 社会問題について、情報や自分の考えを伝えるのに必要となる表現を学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: 世界の貧困問題について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝え合うための多様な語句や文を身に付ける。 b: 食の不均衡の問題について、情報や自分の考えを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。 c: 自分の意見を述べるために、必要となる表現の意味や働きを理解する。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出

※令和４年度以降入学生用

				④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと（発表）	a: 悩み事について、否定の表現やいろいろな経験・物事を説明する表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合う技能を身に付ける。 b: 「食品廃棄を減らすために自分たちにできることは何か」というテーマについて、情報や自分の考えを整理し、詳しく伝え合う技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 否定の表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を書けるようにする。 b: 代名詞を使った表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を書けるようにする。 c: 社会問題について、代名詞を使った表現や世界の格差を表す表現などを用いて、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	L10 Follow in Our Hero's Footsteps	聞くこと	a: 調べ学習で調べたことがらについて、無生物主語構文や物事の調べ方を表す表現を学ぶ。 b: 自分の関心のある人物について、that を使った表現や人物を説明する表現などを学ぶ。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		読むこと	a: 医師の中村哲氏について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝え合うための多様な語句や文を身につける。 b: 医師の中村哲氏について、情報や自分の考えを詳しく伝えるための多様な語句や文を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
		話すこと（発表）	a: 相手によく理解してもらえるように、調べ学習で調べたことがらについて、多様な語句や文を用いて、情報を詳しく話して伝え合う技能を身につける。 b: 聞き手によく理解してもらえるように、自分の関心のある人物について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく紹介する。 c: 聞き手によく理解してもらえるように、自分の未来について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて詳しく発表して伝える。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出
		書くこと	a: 無生物主語構文の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて、複数の文を書く技能を身につける。 b: that を使った表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて、複数の文を書く技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②上記課題等の提出 ③小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	Basic Skills	読むこと	a: 社会的な課題について意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開、表現を理解する。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト
		書くこと	a: 社会的な課題について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身につける。 b: 読み手によく理解してもらえるように、選んだ社会的な課題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書く技能を身につける。	①言語活動の取り組み状況の観察 ②パフォーマンステスト ③上記課題等の提出 ④小テスト，中間・期末考査，評価問題など
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度